

就労継続支援B型事業所の 工賃向上について

茨城県共同受発注センター
コーディネーター
山口 健俊

茨城県共同受発注センターと本日の内容

- 茨城県共同受発注センターは、茨城県内の**就労継続支援B型事業所の工賃向上を目的**に、茨城県によって設立された組織です。
 - 茨城県心身障害者福祉協会が受託しています。
 - 2010年から活動しています。
 - 令和6年度末の会員事業所数は328事業所。
 - B型事業所を中心。



**本日の内容は、B型事業所を対象としています。
工賃向上に関するこころを中心にお話しします。**

本日の話の流れ

1. 新計算式の意味を知る

2. 時間単価と情報整理

1. 新計算方式の意味を知る

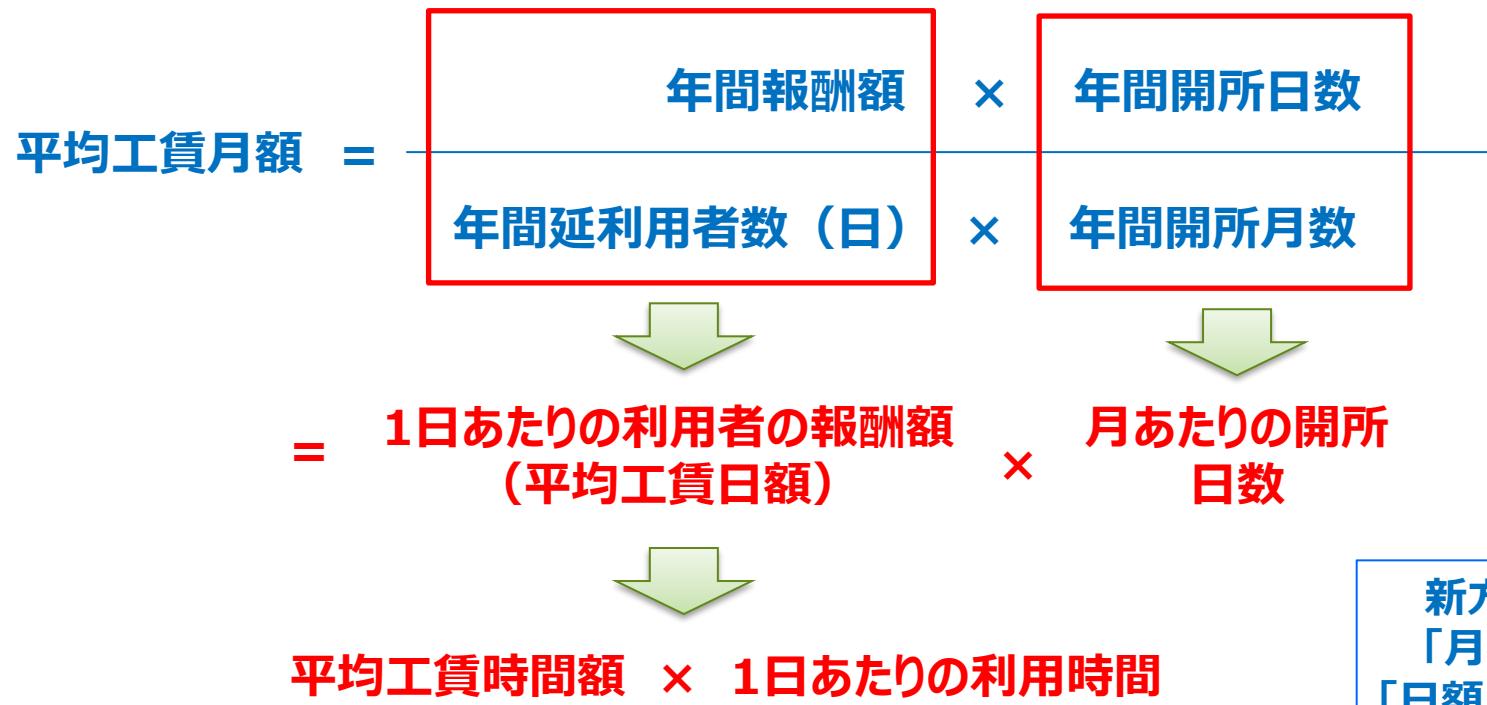
R5新計算方式の意味
R5新計算方式への対策

1. 新計算方式の意味

- 同じ計算式でも、過ぎ去った事を計算するのと、今後の計画を立てるのは、別の角度から見る必要がある。
 - 厚生労働省が提示している計算式は、報酬を算定する場合の、過ぎ去った日のデータを使う場合に便利な式。
 - 平均工賃月額 = 年間報酬額 ÷ (年間延利用者数(日) ÷ 年間開所日数) ÷ 年間開所月数
 - あくまで帳簿から拾ってくるのには便利な式。
 - ただ、**今後の計画を立てるには、割り算が多く、わかりにくい。対策を立てにくい。**
 - 式を見やすく変換すると良い。

1. 新計算方式の意味

- 平均工賃月額 (X) = 年間報酬額 (a) ÷ (年間延利用者数(日 : b) ÷ 年間開所日数(c)) ÷ 年間開所月数(d)
 - かけ算の形にして見やすくする。
- $X=a/ (b/c) /d=(a \times c) / (b \times d)=a/b \times c/d \rightarrow \text{つまり}$



1. 新計算方式への対策

- 平均工賃月額を上げるのには何をすれば良いか。

$$\text{1日あたりの利用者の報酬額} \times \text{月あたりの開所日数}$$

(平均工賃日額) × 日数

	実施事項（例）	新方式	旧方式	備考
1	月あたり就労日数が低い利用者の日数を増やす	—	↑	—
2	月あたりの開所日数を増やす（右項） →支援者さんの負担増？仕事が潤沢な場合	↑	↑	上限30日。労務の問題も。
3	1日あたりの利用時間を増やす（左項） →支援者さんの負担増？仕事が潤沢な場合	↑	↑	現在4時間程度。体力も。
4	時間単価の良い仕事に切り替え、値上げ	↑	↑	時間単価400円以上は可能。
5	作業効率をあげて時間単価を上げる	↑	↑	20～30%伸びれば御の字。
6	貰える金額が高ければ、時間単価が悪い仕事でも実施する。（時間単価を確認しない）	↓	↓	金額だけを見るのは愚策。

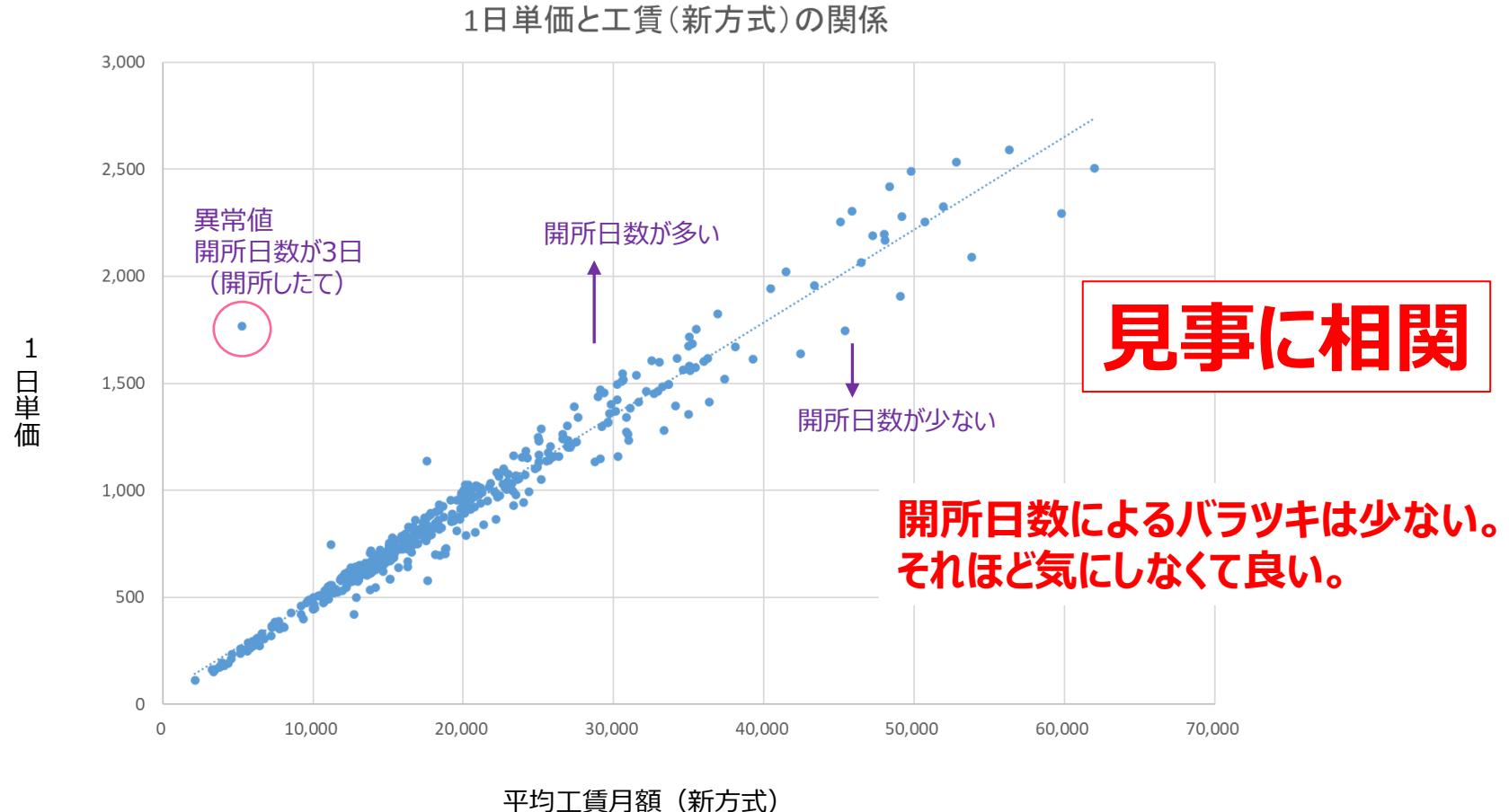
1. 新計算方式への対策

- 各事業所で実施すべきこと
 - そもそも工賃向上の意識を持つ。
 - 前ページの2~5を実施。特に4, 5を実施。
 - 前ページの6に陥っていないか、各受注作業の**時間単価を確認**する。
 - 自主製品の販売をする場合は、計算出来ていない事が多く見受けられる。（価格設定、ロス率等）

結局、やることは今迄と変わらない。

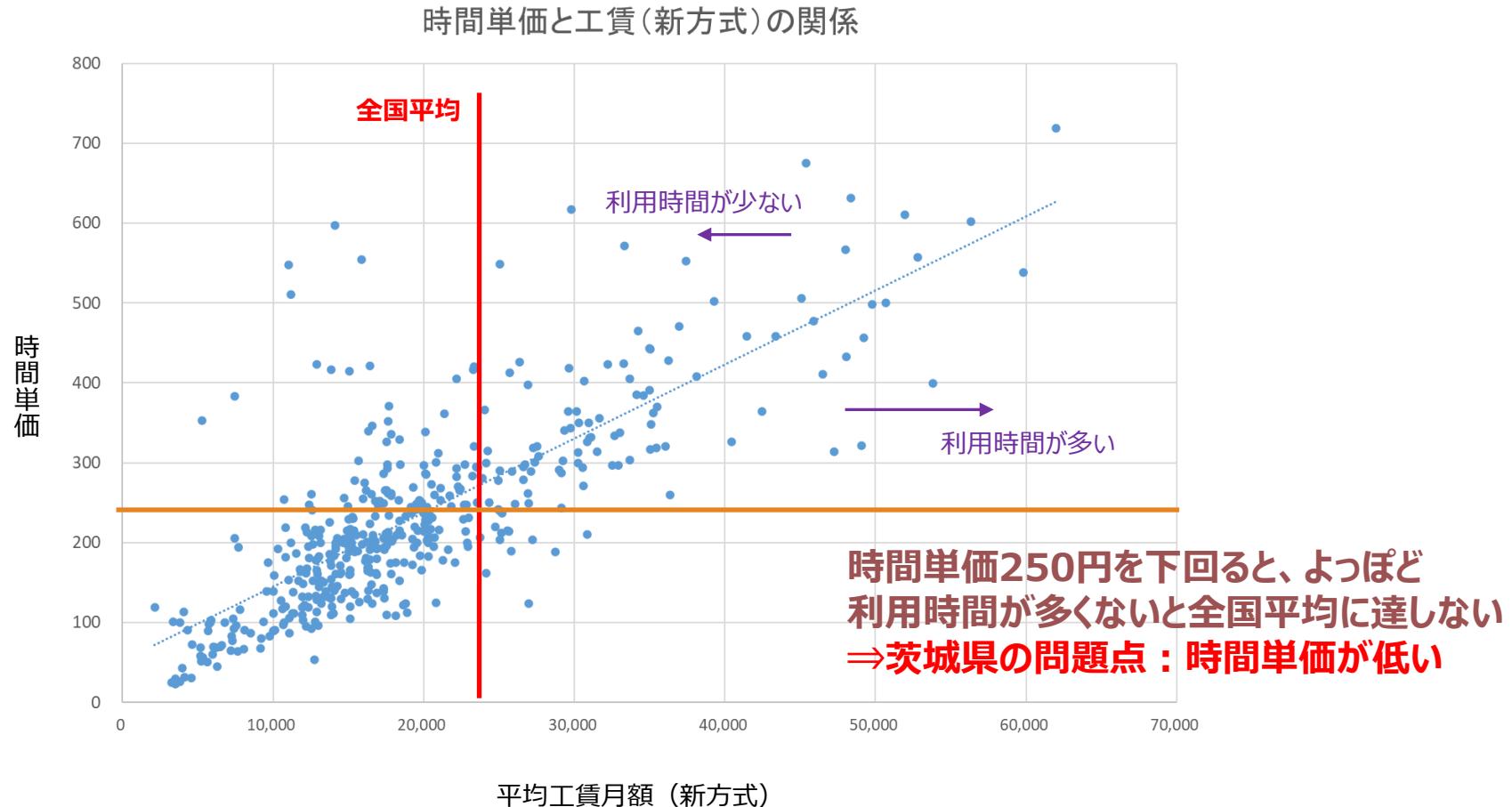
分布状況～本当に日額？～

日額を上げることが工賃向上に直結



分布状況～本当に時間単価？～

時間単価を上げる対策が、工賃向上対策！



2. 時間単価と情報整理

- ・時間単価の考え方
- ・仕事別の時間単価を把握する

2. 時間単価と情報整理

時間単価の考え方を、強く意識する。

- 何となく出来そうな仕事を選んで、一生懸命やっているけど、工賃向上につながらない。
 - きちんと計算して、工賃向上につながる仕事を選びましょう。
- 工賃向上を図りたいが、仕事がいっぱいで新しい仕事を入れられない。改善できない。
 - 貧乏暇無し状態になつていませんか？
 - 何かを変えないと悪循環です。



今より時間単価の良い仕事を新たに入れる。
交渉して今より時間単価の良い仕事にする。

2. 時間単価と情報整理

時間単価を意識して仕事を評価する

間違い①：作業単価が良い仕事が良い仕事？

1個5円の内職が取れました。
良い仕事です。



1円/個の仕事より、5円/個の仕事は、本当に良い？

- ・1円/個で、50分（10分休憩）に500個できる仕事は、時間単価500円。
- ・5円/個で、50分（10分休憩）に10個しか出来ない仕事は、時間単価50円。

時間単価で考えないと意味がありません！

2. 時間単価と情報整理

時間単価を意識して仕事を評価する

間違い②：月間収入額が多い仕事が良い仕事？

月間18万円も請求している大型案件。
一番良い仕事です！



金額だけで判断するのはもってのほか。
時間単価で考えないと意味がありません！

時間単価の悪い大型案件は、本当に良い？

- ・その顧客への売上依存度が高い。
 - 請求手間が少なくて済む
 - ✗無くなると、困る。利用者のやることが無くなる。
 - ✗無くなると、工賃原資が一気に無くなる。
- バランス
を考える**

2. 時間単価と情報整理

時間単価を意識して仕事を評価する

金額だけで判断するのはもってのほか。
時間単価で考えないと意味がありません！

大切なのは「量より質」。



打開策は2つ（3つ）

- ・今より時間単価の良い仕事を新たに入れる。
- ・交渉して今より時間単価の良い仕事にする。
(・作業効率を上げる。限界がある。)

2. 時間単価と情報整理

仕事別の時給単価を把握する

- ・ 単独の仕事だけをやっている事業所は少ない。
- ・ それぞれの仕事の単価を把握する事が必要。
- ・ 時給単価と、工賃収益を仕事毎に整理しておかないと、次のアクションをどう起こして良いのかが決まらない。



正しく会計処理をする

仕事別の時間単価を把握する

交渉等を行う

**茨城県共同受発注センターでは、
案件の紹介業務を行っている他、
価格交渉方法等の習得などの
研修会も実施しています。**

ご興味がある方は、茨城県共同受発注センターをご覧下さい。
<https://kyodojuhacchu.pref.ibaraki.jp/>